

岩手・宮城県際ネットワーク

－ 令和2年12月1日発行 －（担当公所：東部地方振興事務所登米地域事務所）（第166号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	https://www.pref.iwate.jp/kennan/keiei/index.html
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/index.html
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所地方振興部	0228-22-2195	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-e/
宮城県	気仙沼地方振興事務所地方振興部	0226-24-2593	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部	0220-22-6123	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/

圏域情報

◆◆◆◆ 宮城県 東部地方振興事務所登米地域事務所 ◆◆◆◆

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部交流会を開催しました

10月20日（火）に、登米合同庁舎にて、「みやぎ地域づくり団体協議会登米支部交流会」を開催しました。当日は、登米市内で活動するコミュニティ団体やNPO法人などの登米支部会員等、計19名が参加しました。

今年度は、津軽地吹雪会（青森県五所川原市）の代表である角田周氏を講師にお招きし、「地域づくりは人づくり～これからの主役は登米市だ！～」をテーマに講演会を行いました。講師の角田氏は、1988年から地元住民にとって厄介者の「地吹雪」を利用した「地吹雪体験ツアー」等様々な地域活性化イベントを開催し、2003年には国土交通省の「観光カリスマ」に認定されています。

講演内容は、主に角田氏の実践を踏まえた事例の紹介、登米市への今後の地域づくりのアドバイス、津軽地吹雪会による「地吹雪体験ツアー」が取り上げられたニュース等のDVD放映といったものでした。

参加者からは、「地域で生きる人が地域を好きになる、誇れるようになることが一番重

要だと感じた」、「（角田氏の）失敗や成功を聞いて『元気づけ』られた」などの感想がありました。



登米支部では、今後も管内の地域づくり活動促進のための活動を実施していきます。

■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部事務局
（宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
地方振興部商工・振興班）
電話：0220-22-6123

いちのせき秋まつりが開催されました！

10月24日（土）、10月25日（日）の二日間、一関文化センター前広場、大町通り、なのはなプラザにおいて、『いちのせき秋まつり商工フェスタ』が開催されました。

この秋まつりは、例年開催されている産業まつりに新型コロナウイルスの影響で中止となった市内各地域のイベントの要素を加え、より充実した内容で実施することとなったものです。

市内を中心に44の業者・団体が出店し、地場産品や工業製品の展示・販売、スタンプラリーやお楽しみ抽選会なども行われ、秋の一関を盛り上げました。



(出店の様子)

会場入り口では検温が行われ、来場者は氏名、住所、電話番号などを記載してから入場。また、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染拡大防止も徹底されました。

開会セレモニーでは、勝部一関市長の挨拶の後、出席された委員によるバルーンリリース(風船飛ばし)が行われ、オープニングアクトとして、一関第二高等学校太鼓道場部による演奏も行われました。開会セレモニー閉会後には、一関景観まちづくり賞の表彰式も行われました。



(一関第二高等学校太鼓道場部による演奏)

大通りにはメインステージが設けられ、夏祭りなどで披露される予定だった伝統芸能や、踊り、演奏など多彩なパフォーマンスが繰り広げられました。

また、10月31日（土）、11月1日（日）にはまつりの第2部である『いちのせき秋まつり農業フェスタ』が行われ、一関地方の農産物直売や、太鼓巡行演奏など、賑わいが見られました。

■お問い合わせ先

いちのせき秋まつり実行委員会
電話 0191-21-8412（一関市商政課）

陸前高田 発酵パーク ^{カモシー} CAMOCYがオープンします！！

“醗酵を楽しむ、発酵で美味しく健康に”

麴を発酵させ、お酒や醤油・味噌などを作ることを「かもす」と言い、醸造の工程においてとても重要な“醸す”という言葉から名づけられたCAMOCY（カモシー）！！

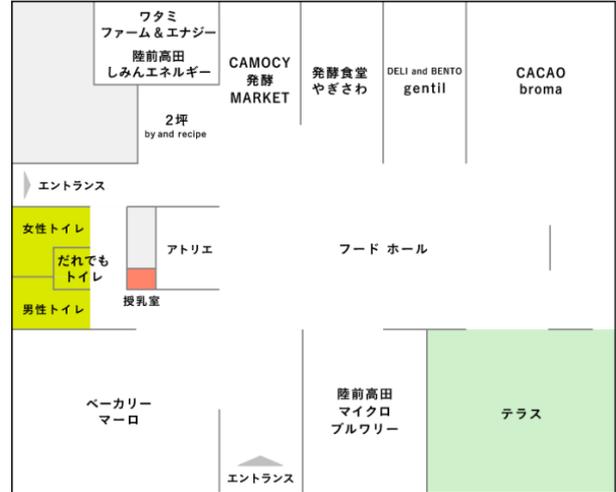
今回は、陸前高田市今泉地区に12月オープン予定の発酵パークCAMOCYを特集します。



△発酵パークCAMOCY外観パース図

陸前高田市今泉地区には、お酒や醤油など発酵に関わる事業所が数多くありました。震災によりほとんどの事業所が被害を受けましたが、「震災前の街並みを取り戻し、発酵に関わる音や香りを取り戻すことのできる施設を作りたい」（八木澤商店の代表取締役社長・河野通洋氏インタビューより）との強い思いで、発酵パークとして新たなスタートを切ります。

施設内には、発酵に関わりのある7つの店舗がテナントとして入り、発酵食品づくり体験や美味しく健康になれる食事をお客様に提供する予定です！



△施設内の7店舗

- ①ベーカリーマーロ
- ②発酵食堂やぎさわ / CAMOCY 発酵 MARKET
今泉地区で育てられたの「ひとめぼれ多賀多」や陸前高田のブランド米「たかたのゆめ」と三陸の魚を使った味噌漬けなどをお膳として提供します。
- ③DELI and BENTO gentil
- ④CACAO broma
本物のオーガニックカカオと沖縄の黒糖・粗糖のみで練り上げたチョコレートを製造・販売します。
- ⑤陸前高田マイクロブルワリー(ビール工房)
- ⑥ワタミエナジー株式会社
- ⑦2坪 by and recipe

店名となる2坪という小さな場所から、誰かの未来の小さな起点となるような“モノゴト”を集めて販売します。

■お問い合わせ先

株式会社 醸
岩手県陸前高田市気仙町 74-1
info@camocy.jp

「地元ガイド養成講座」開催

11月4日に、「地元ガイド養成講座」を開催しました。

この養成講座は、観光などで栗原市を訪れた方々に、おもてなしの心を持って栗原の魅力を伝えられるようにと、宮城県としては初めて実施するものです。

この講座は、「地元の人が地元のことを意外と知らない」ということや、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、近場観光（マイクロツーリズム）の良さが見直されていることを踏まえて企画しました。ホテルや農産物直売所など、観光関連の事業所等で働いている方々に、改めて、地元、栗原の魅力を再認識し、またその魅力を発信するきっかけにさせていただきたいと考えています。

講座は、5日間で、「栗原市の主な観光地等について」、「栗原市の歴史や文化財について」など、全部で9つの講話を実施します。

また、現地研修として、「宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター」（栗原市若柳）や「栗駒山麓ビジターセンター」（同栗駒）の施設見学も行います。

第1回では、「地元の魅力の再認識とその発信の重要性について」と題して、南三陸町商工観光課の宮川舞課長補佐から、地域住民を巻き込んだシティプロモーションの取組事例の紹介や、その取組成果などについて、お話しいただき、参加者は、皆熱心に耳を傾けていました。

なお、講座の受講者には、受講証と「わがまち案内人」のバッジが授与されます。



「わがまち案内人」バッジ（イメージ）

■お問い合わせ先

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部

電話：0228-22-2195

ホヤぼーやの王子様コスチュームが登場しました！

年に1度のホヤぼーやファンイベント「あったげホヤぼーや」が今年も開催され、昨年のコスチューム人気投票1位の「王子様コスチューム」がお披露目されました。

「あったげ」とは気仙沼地方の方言で「いっぱい・たくさん」を意味します。その名のとおり、ホヤぼーやと「たくさん」交流することができるイベントで、当日は延べ468人もの来場者で市内内湾地区が賑わいました。

初お披露目された王子様コスチュームのホヤぼーやは、今後市内イベント等に登場予定です。イベントの開催が難しい状況が続いておりますが、出演が決定した際には、気仙沼市公式ホームページ内の「ホヤぼーや出張スケジュール」にて予定が掲載されます。ぜひご確認いただき、新しいコスチュームのホヤぼーやに会いに来てみてください。



「海の子ホヤぼーや王子様コスチューム」

また、今年も皆さんからホヤぼーやに年賀状を送る「ホヤぼーやあて年賀状」を募集予定です。今年は国内にとどまらず海外からも年賀状をいただき、その数は1,800通を超えました。



ホヤぼーやからは、年賀状をお送りいただいた方全員に「お返事年賀状」が送られます。そのデザインはその年のイメージ、干支に合わせて毎年違ったイラストが描かれていて、その年にしかもらうことのできない限定年賀状ですので、ぜひコレクションしてみませんか。



▲2020年1月に返信された年賀状

〒988-8555 「ホヤぼーや宛て」でホヤぼーやに届きます。詳細は12月中に気仙沼市より記者発表予定です。

■お問い合わせ先

気仙沼市産業部観光課

TEL:0226-22-3438

イベント情報など

◆◆◆◆ 宮城県 北部地方振興事務所 栗原地域事務所 ◆◆◆◆ くりはら博覧会らいん2020秋冬

栗原市ならではの体験プログラムが盛りだくさんの「くりはら博覧会らいん2020秋冬」が、今年も開催されており、現在、12月のプログラムについて参加者を募集しています。

例年、春夏と秋冬の2回に分けて開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により春夏が中止となり、待ちに待った開催となります。

募集中のプログラムは、三種のそば食べ比べ、ローストチキンづくり、しめ飾りづくりの3本。年末の準備にもなる内容となっていますので、ぜひいかがでしょうか。

■お問い合わせ先

一般社団法人
くりはらツーリズムネットワーク
所在地：宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 45
電話：090-4889-5310
ホームページ：<http://ktnpr.com/>

◆◆◆◆ 宮城県 北部地方振興事務所 栗原地域事務所 ◆◆◆◆ ガンの飛び立ち観察会

宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団は、伊豆沼・内沼の自然を通じて、自然の美しさ、楽しさ、不思議を知り、自然を守ることの大切さを学ぶための機会として、毎年「自然体験講座」を開催しています。各プログラムでは、いずれも講師や職員による分かりやすい解説があり、楽しく自然を学ぶことができます。

これからの季節は、12月から1月にかけて「ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会」が開催されます。

寒さが身にしみる季節ではありますが、感動的なマガンの飛び立ちをお楽しみいただくことができます。

■お問い合わせ先

公益財団法人
宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
(宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター)
所在地：宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2
電話：0228-33-2216
ホームページ：<http://izunuma.org/>

◇◆◆◇ 宮城県 気仙沼

地方振興事務所 ◇◆◆◇

志津川湾おすばでまつり福興市を開催します！

南三陸町では、年末の一大イベント「志津川湾おすばでまつり福興市」が開催されます。年越しやお正月には欠かせない、たこ・あわび・なまこ・いくらに鮮魚、それから蒲鉾、海苔などの加工品や農産品など、南三陸の特産品が勢ぞろいします。

会場には宅配サービスも完備されますので、贈答用としてもお買い求めください。



■開催期間

12月29日（火）

午前7時30分～午後1時

■会場

志津川仮設魚市場特設会場

（本吉郡南三陸町志津川字旭ヶ浦8）

■お問い合わせ先

南三陸福興市実行委員会事務局

TEL:090-7077-2550